

# Network Service Systems Laboratories

ネットワークサービスシステム研究所

PROFILE GUIDE



ネットワークサービスシステム研究所



# 未来を創る、 その一歩目へ。

## NTTが描く未来ビジョン「IOWN」

超高速・超低遅延・超低消費電力なコンピューティングとネットワークの新しい構想「IOWN」。  
通信ネットワークの枠と限界を超え、モビリティ、医療、エネルギー、都市など、  
あらゆる社会システムを支えるインフラへと進化させることが私たちの使命です。

そのための技術の研究開発には、通信や情報処理はもちろん、  
それ以外の様々な専門分野を得意とする皆さんの知恵と創意工夫が必要です。

AI・機械学習、数学、物理学、システム制御、最適化理論、心理学、、、

どんなバックグラウンドも、未来を創る新たな発見の種になります。

その種を元に、理論から実証、研究から実用化まで、幅広いフィールドで、多様な専門性を持つ研究者が協働する。  
そんな未来創造の最前線が、ここNTTネットワークサービスシステム研究所 (NS研) です。

あなたの専門、好奇心、アイデアで、新たな未来とそれを実現する技術を、私たちとともに創りませんか。



# 世界を変えるIOWN NS研で、その最前線へ!

映画のような未来は、もう机上の空論ではありません。  
IOWNは、圧倒的な高速・低遅延・省電力を実現する  
新たなコンピューティングとネットワークの構想。  
自動運転、遠隔医療、メタバース…  
あらゆる分野に変革をもたらすこの構想に、  
NS研は研究から実用化まで密接に関わっています。



## IOWN

Innovative Optical and Wireless Network

### IOWN 構想とは?

IOWN (Innovative Optical and Wireless Network) 構想とは、革新的な技術によりこれまでのインフラの限界を超え、あらゆる情報を基に個と全体との最適化を図り、多様性を受容できる豊かな社会をつくるため、光を中心とした革新的技術を活用した高速大容量通信、膨大な計算リソースなどを提供可能な、端末を含むネットワーク・情報処理基盤の構想です。2030年の実現をめざして、研究開発を始めています。



NTTネットワークサービスシステム研究所では、

**3**つのプロジェクトにて研究開発に取り組んでいます。

- 01 | ネットワーアーキテクチャプロジェクト
- 02 | ネットワーク基盤技術研究プロジェクト
- 03 | 通信トラヒック・品質・オペレーション研究プロジェクト

### 研究所について

NTTネットワークサービスシステム研究所では、IOWN(Innovative Optical and Wireless Network) 構想の実現に向けて、光を中心とした革新的技術を活用し、これまでのインフラの限界を超えた高速大容量通信ならびに膨大な計算リソース等を提供可能なネットワーク・情報処理基盤を実現するアーキテクチャ、ネットワークシステムの基盤技術、及び通信トラヒック・品質・オペレーション技術の研究開発を行っています。

NTTネットワークサービスシステム研究所

所長 安川 正祥



NS研で活かせる専攻・キーワード

- ネットワークアーキテクチャ
- ネットワークAI
- 光バス設計・制御
- オールフォトリクス・ネットワーク (APN)
- コグニティブ・ファウンデーション (CF)
- 通信トラヒックデータ分析
- 機械学習・データ分析・最適化
- ネットワーク × デジタルアイデンティティ
- 通信サービス品質 (QoS)・体感品質 (QoE) 評価
- 自動運転・ミッションクリティカル通信
- intentベース・オペレーション
- 衛星測位システム (GNSS)
- コミュニケーション基盤
- 次世代光伝送システム (フォトリックエクスチェンジ)



# ネットワーク基盤技術研究プロジェクト

Core Network Technology Research Project

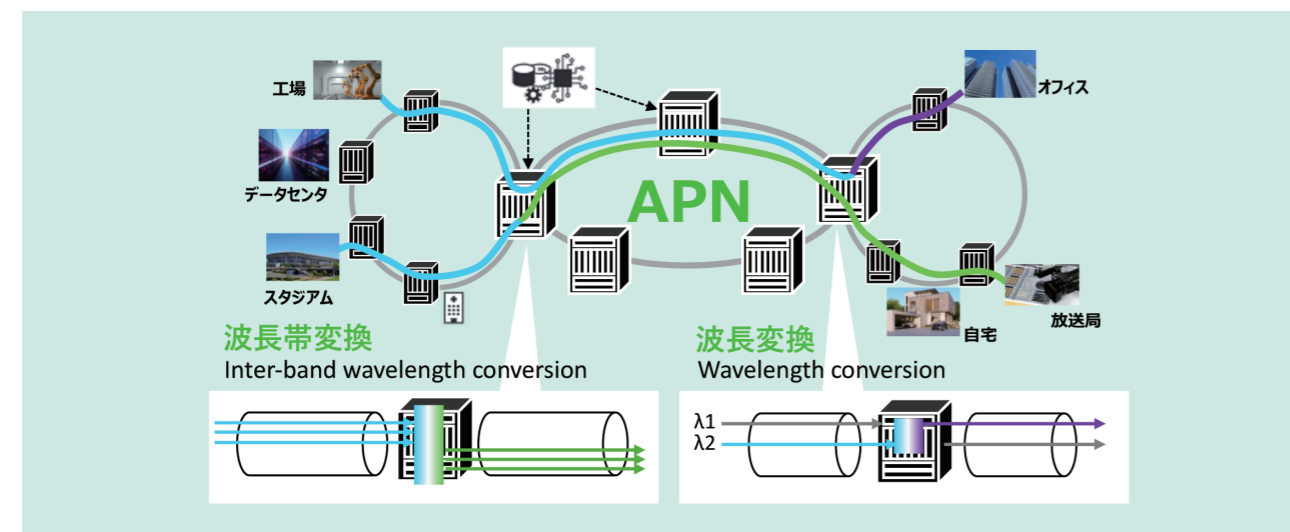
ネットワーク基盤技術研究プロジェクトでは、「IOWN」の発展に向けた、APNを支える光トランスポート技術、XR (クロスリアリティ) での高い没入感を実現するイマーシブリアルタイムコミュニケーション技術、ミッションクリティカルなサービスを支えるプラットフォーム技術などの、革新的なネットワーク基盤技術に関する研究開発を進めています。

## 革新的なネットワーク基盤技術の実現に向けて

IOWNの技術を具現化する重要な一つのケースであるAPNは、データを電気信号に変換せずに光のまま処理することで、より速く、大量の情報を効率よく伝送する仕組みです。私たちは、このAPNを支えるために「フォトリックエクスチェンジ」という光の接続点となる技術の研究開発に取り組んでいます。

エンド・ツー・エンドの光パスで通信を提供するためには、接続点となる光ノードで膨大な数の光パスを収容する必要があります。そのため、シングルバンドとマルチバンドを光のまま変更可能とする波長帯変換技術や、任意の波長から任意の波長へと一波長単位で変換する波長変換技術、それらの波長と経路を最適に設計する APN 設計技術の検討などを進めています。国内外のパートナーとも連携しながら、国際的に通用する技術仕様の策定にも積極的に貢献しています。

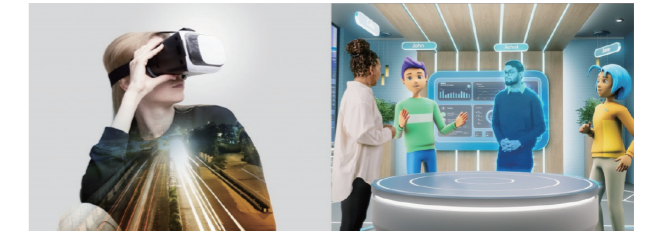
さらに、従来の原子時計より 10 万倍以上精度の高い「光格子時計」を通信ネットワークと組み合わせる光格子時計ネットワーク技術の研究も行っています。光格子時計が生み出す超高精度な光周波数を、APNを活用して遠隔地へ伝送する技術で、物性科学基礎研究所や NTT 東日本、NTT ドコモ、東京大学等と連携して検討を行っています。例えば、5Gや6Gなどのモバイル通信では高精度な時刻情報源が必要ですが、GPS信号が途切れた場合でも、光格子時計ネットワークによって高精度な時刻を長期間保つことが可能になるため、通信の信頼性向上に役立ちます。私たちはこの技術の有効性を実証実験で確認し、将来的には社会インフラとしての実用化を目指して取り組んでいます。



## XRでのコミュニケーション技術の国際標準化と実用化

近年、メタバースや AR/VR 空間での交流が広がっています。こうした仮想空間と現実空間を融合させた環境でも快適に会話や作業を行うには、遅延の少ないリアルタイム通信が欠かせません。私たちは、XR (クロスリアリティ) での円滑なコミュニケーションを実現するための通信技術の標準化に力を入れています。特に、3GPP や Linux Foundation (CAMARA Project) という国際的な通信規格団体で、WebRTC というウェブ技術をベースにしたリアルタイム通信方式の検討をラポータやコードオーナーの立場でリードし、その技術は NICと連携しNTTドコモ

の事業にも導入されています。



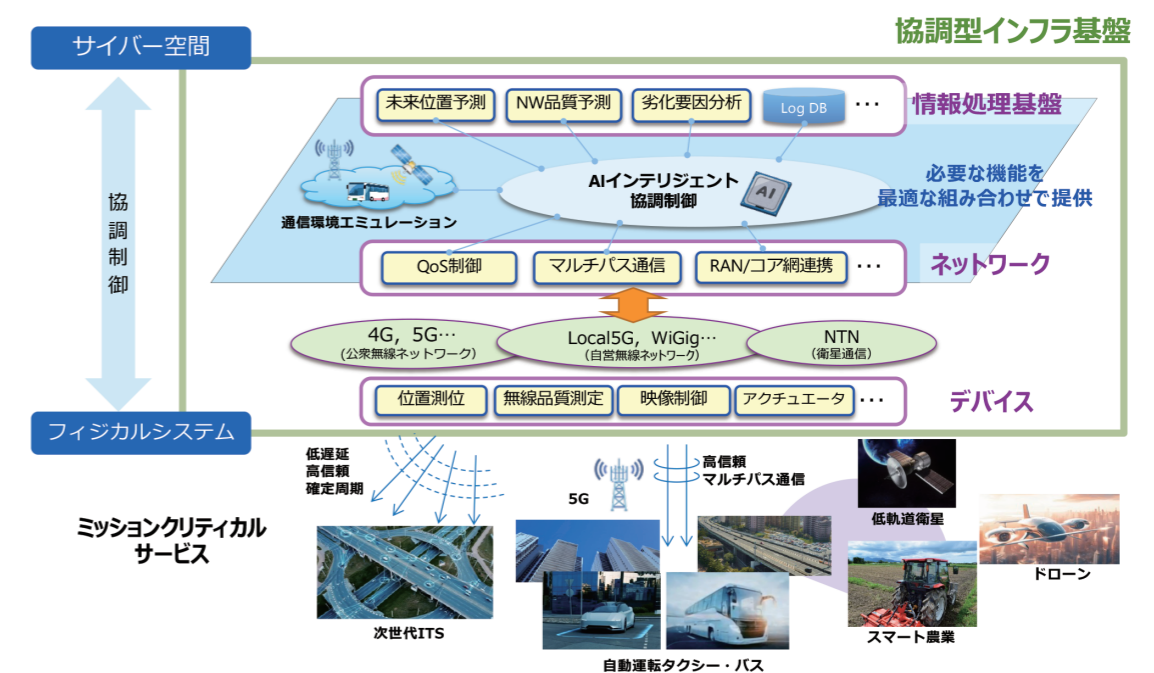
## 安全・安心な自動運転を支える協調型インフラ技術

2023年4月から、自動運転レベル4の公道走行が解禁されました。無人で車を走らせる場合、遠隔地からの監視が法律で義務付けられており、映像や音声を途切れずに送ることが求められます。そこで私たちは、複数のモバイル回線を賢く切り替えて通信品質を保つ技術の研究開発を行っています。

具体的には、複数のモバイル回線を併用しながら、無線通信の品質を予測し、品質が劣化する前に回線を切り替えるプロアクティブ制御と、リアルタイムの通信品質監視によって品質劣化時に回線を切り替えるリアクティブ制御を組み合わせる方式や、その要素技術を検討しています。これにより、ビルの陰や駅周辺の

混雑など、電波が不安定になりやすい場所でも安定した通信を実現します。地域交通事業者とも連携して、実際に自動運転に対応させた路線バスを使った公道走行実験も行い、遠隔地からの映像監視が問題なくできることを確認しています。

現在は、モバイル回線だけでなく衛星通信 (Non-Terrestrial Network: 非地上系ネットワーク) も取り入れることで山間部等のモバイル網の電波が入りにくいエリアへの対応やAI技術によるシステム全体の最適化に取り組んでいます。今後は農業機械の自動運転など他の分野への応用も進め、自動運転車の普及に伴う交通システム全体の進化にも貢献していきたいと考えています。



# 通信トラフィック・品質・オペレーション研究プロジェクト

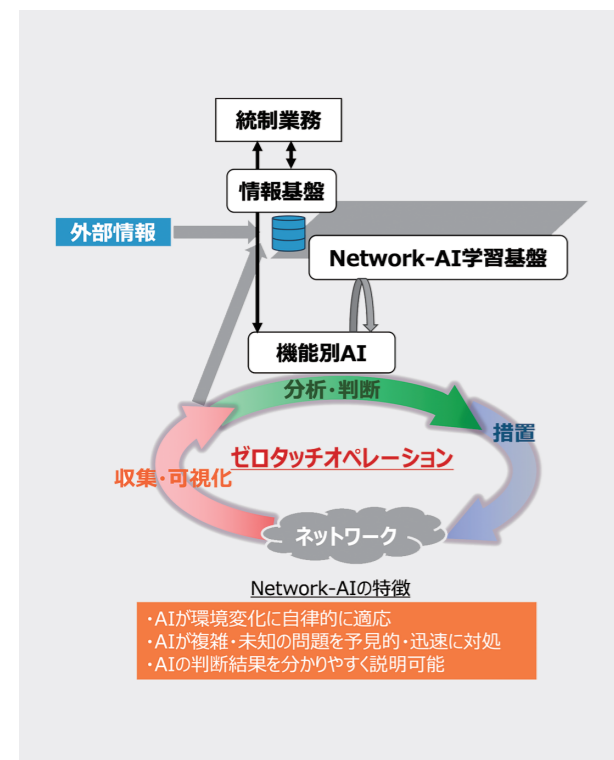
Communication Traffic, Quality and Operation Research Project

通信トラフィック・品質・オペレーション研究プロジェクトでは、未来の社会を支える新しい ICT 基盤と、故障や品質低下に強いネットワーク / サービスの実現を目指した AI の研究開発を進めています。

## IOWN および強靱なネットワーク / サービスを支えるオペレーションの実現に向けて

「Network-AI」は、ネットワーク機器やシステムから集まる大量のログ情報や保守者の対応履歴などを多角的に分析し、保守者の意図に沿ってネットワーク運用を効率化・自動化する技術です。大規模な通信障害や災害時にも強靱なネットワークを維持するため、AI が環境変化に自律的に適応し、今後発生し得る複雑・未知の問題を予見的・迅速に対処し、判断結果をわかりやすく説明できる仕組みの研究開発を行っています。例えば、大規模な通信障害が発生した場合に、関連する情報の収集・可視化を通じて

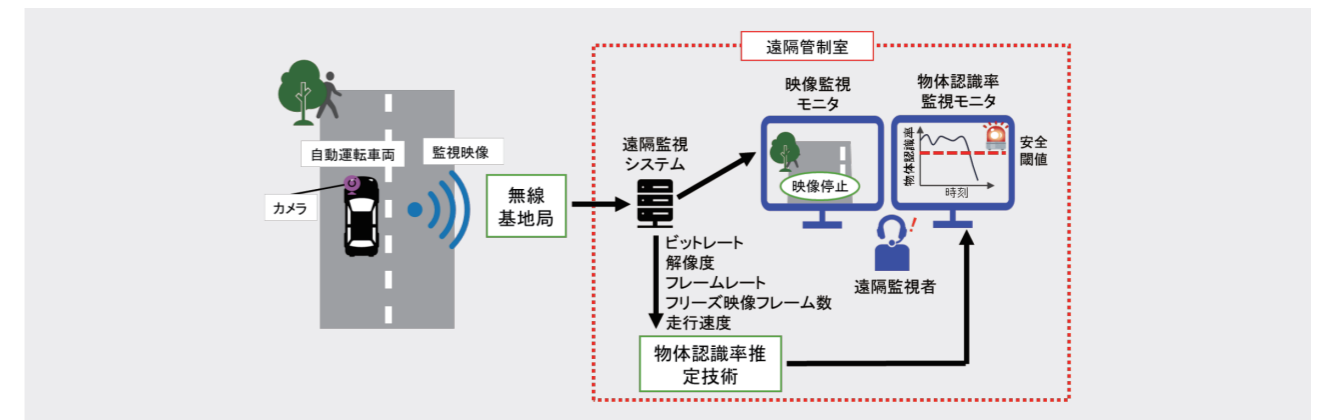
異常検知を行い、分析・判断を通じて障害の根本原因を明らかにし、措置内容の提案を行う機能別 AI の技術開発・実証を事業会社と連携して進めています。また、近年注目されている大規模言語モデル (Large Language Model: LLM) を活用した AI エージェント技術と機能別 AI を組み合わせ、自律的に故障を復旧する仕組みの技術開発を進めています。加えて、通信障害を発生させる AI と通信障害を自律的に復旧させる AI を組み合わせ、ネットワークデジタルツイン上で様々な通信障害に対する復旧方策を事前に学習・蓄積することで、実網で発生する未知の通信障害に対しても迅速・的確に対処するための技術など、ネットワーク・AI・機械学習・数学等の様々な分野の知見を元に新たなモデル・理論を創出し、今後のネットワーク・システム運用を根本的に変革しうる研究開発を進めています。



## Mintent® (Intent AI メディエータ)

「Mintent®」は、サービス利用者や提供者の要望を自然な言葉から読み取り、その内容に合わせてネットワークやクラウドの資源を効率よく管理する技術です。例えば、自動運転レベル 4 ではバスや農機などの自動運転車両から周囲映像を遠隔監視センタへ送信し、監視者が確認します。その際、車両前方の物体を監視映像から遠隔監視者が認識できるように送信したり、制御したりできるように、監視映像や車両速度情報から物体認識率を推定する技術の検討を進めています。

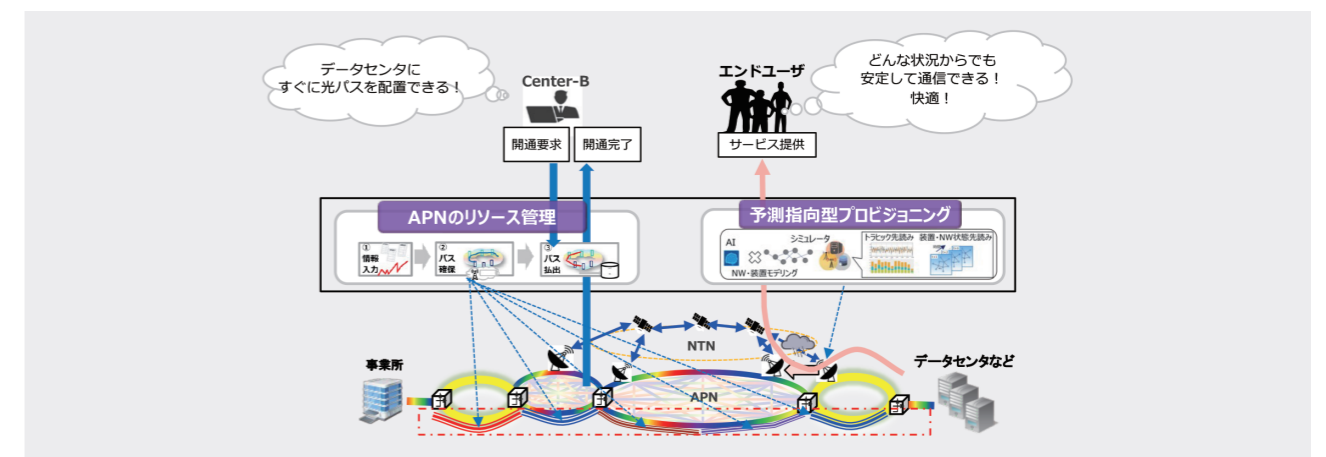
商業エリアなどでは、イベントなどが開催され、平常時とは異なるユーザ数が集まり、通信品質が低下する場合があります。一方で、常に繁忙期を想定したネットワーク設備設計をしてしまうと過剰投資や運用費の高騰に繋がります。そこで、無線基地局アンテナチルト角などの無線基地局パラメータを制御したり、無線基地局バンド(周波数)を利用頻度に応じて、通信品質を低下させないように停波する検討を進めています。



## オペレーションアーキテクチャ

「オペレーションアーキテクチャ」では、IOWN (Innovative Optical and Wireless Network) 構想を推進し、より柔軟かつ経済的にネットワークサービス・インフラを実現するための、光ネットワークのオープンなインタフェース技術、ネットワーク装置やトポロジ、トラフィックなど管理対象をモデリングする技術、光ネットワークコントローラによる新しい光パスの設計・制御・管理技術の研究を行っています。商用サービスを開始した APN (All-Photonic Network) に対しては、将来の拡張を見据え、研究が進む新しいタイプの光パスや多様化する光パスサービスを

運用するためのコントローラ、コントローラと連携することでオンデマンドに光パスを提供するリソース管理方式の研究開発に注力しています。また、NTN (非地上系ネットワーク) やモバイル網など、動的にユーザの接続環境が変化するネットワークに対しては、天候や衛星の配置、端末のトラフィックなど様々な環境情報から安定した通信を行なうために最適なネットワーク構成の先読みを行なう、予測指向型のプロビジョニング (設計) 方式の研究開発を進めています。



# RESEARCHERS' VOICE

若手だからこそ挑戦できる。  
研究の現場には、年次に関係なく意見を出し、形にできる風土があります。  
入社数年でプロジェクトの中心を担う社員たちの声を聞きました。



特別研究員  
橋本 悠香

2018年入社

〈部署〉

通信トラヒック・品質・  
オペレーション研究プロジェクト  
トラフィックエンジニアリング  
研究グループ

好きなことを、とことん追いかける。  
その先に、社会を動かす研究がある。

大学では、大規模な科学技術計算に関わる数学のアルゴリズムを研究していました。就職活動をしていく中で「自分の手で何かをつくり出したい」という気持ちが強くなり、研究職を志すようになりました。

NTT研究所との出会いは、大学院時代のインターンシップです。年齢や立場に関係なく、自由に意見を交わしながら研究を進める雰囲気は惹かれました。学生の私に

もフレンドリーに接していただき、「ここなら自分らしく研究できる」と感じたことを覚えています。

現在は数学の理論をもとに、機械学習の新しい仕組みを研究しています。思いがけない結果が出たとき、その理由を理論的に探っていく過程がとても面白いです。自分の研究が次の技術につながるかもしれない、そんなワクワク感がこの仕事の魅力です。

働く環境もとても自由で、リモート勤務やフレックスタイムを活用しながら、自分のペースで集中できます。研究テーマを自分で決められるのも大きなやりがいの一つです。

また入社時には、同僚とコーヒーやお茶を飲みながら仕事以外の話をしたり、リモートワークの時はチャットツールを活用して趣味の話やちょっとした研究の話を共有したりすることもあります。オンラインでもオフラインでも、コミュニケーションがきちんととれるので安心です。

私は将来、自分の研究が誰かの新しい研究のきっかけになり、社会を少しずつ変えていくような存在を目指しています。技術が好きで、探究心のある人には、ぴったりの職場だと思います。



異なるフィールドでも、挑戦できる。  
研究の可能性は、ここから未来へ広がっていく。

大学では航空宇宙工学を専攻し、航空機のジェットエンジンの空力騒音に関する数値流体シミュレーション技術を研究していました。

もともと「乗り物」が好きで、学生時代は複雑なジェットエンジンの空力騒音をどうすれば計算コストを抑えて解析できるのか、プログラミングを駆使したシミュレーション技術開発に取り組んでいました。

そんな私が研究職に挑戦しようと思ったのは、元々異分野へのチャレンジにもオープンなマインドでしたが、企業研究や研究所見学会に参加する中で、

大学の研究室のように自由な議論ができる雰囲気と、企業として社会へ研究成果を還元していくという強い志に惹かれたからです。

現在はBeyond 5G/6Gに向けた将来のネットワークアーキテクチャ研究を担当。クラウドやAI基盤技術をモバイルネットワークに応用する最先端のテーマに取り組んでいます。

またdocomoやグローバル企業と連携した実証実験や、海外で開催されるカンファレンスでの登壇など、研究成果を「社会へ伝える」機会も多く、日々新しい刺激を受けています。

NTTネットワークサービスシステム研究所には純粋な研究だけでなく、事業貢献や標準化活動まで幅広いキャリアパスがあり、異分野出身でも挑戦のチャンスが豊富です。研修制度やリモート勤務などのサポートも充実しており、自分のペースでスキルを磨ける環境です。

私は将来「モバイル × クラウド × AI」という新しい領域で、国内外に影響を与える研究者を目指しています。専門分野にこだわらず、自分の興味や情熱を社会に活かしたい方こそ、最適な場所だと思います。



研究員  
平井 志久

2018年入社

〈部署〉

ネットワークアーキテクチャ  
プロジェクト

アーキテクチャ方式グループ

※インタビュー当時



研究員  
已波 春香

2021年入社

〈部署〉  
ネットワーク基盤技術研究  
プロジェクト  
光トランスポート研究グループ

### 研究も、子育ても。 “わたしらしく挑戦できる”環境がここにある。

大学では、プラスチック光ファイバのデータセンタ応用に関する研究をしていました。

通信の「ハード」分野に興味があり、光伝送の分野にも強みを持つNTTネットワークサービスシステム研究所の研究内容や柔軟な働き方に惹かれて入社を強く志望しました。

就職活動時はコロナ禍で、説明会も面接も基本オンライン。あらゆる不安から「私は研究職に向いているのだろうか」と悩んだ時期もありました。そんな時、大学の研究室にいらっしゃったOBに背中を押していただいたことがきっかけで、挑戦する気持ちが生まれました。

現在はIOWN APNに向けた光ノードシステムの要素技術として、波長変換技術の研究を担当しています。複数部署やベンダーと連携しながら、デバイス特性の評価やシステム構成の検討を進める毎日は、知的好奇心をくすぐられます。

私の部署は出社する人が多いので、お昼休憩やミーティングの合間などに上司、先輩、後輩を含めて雑談をよくしています。

また働く環境もとても柔軟です。私は現在妊娠中ですが、体調に合わせた勤務や、育児復帰した先輩ママが身近にいるので、出産後のことなどの気軽

な相談もできています。

研究は一人で完結するものではありません。上司や先輩、後輩との日常的な雑談や議論、さらに部署を超えた連携を通して、知識や視点を広げられるのがNTTネットワークサービスシステム研究所の魅力です。また、自身の研究が社会へどのように貢献していくかを意識しやすいことも魅力のひとつです。

これからは、母親としての新しい生活と研究職の両立に挑戦しながら、博士号の取得やチーム運営にもチャレンジしていきたいと思っています。



### 研究の先に、“人の役に立つ未来”がある。 通信の未来を支える私の挑戦物語。

大学では心理学と物理学を学び、個人と集団の協力関係について研究していました。人がどのように助け合い、つながりを築いていくのかを探るうちに、「社会や人の役に立つ研究をしたい」という思いが芽生え、大学院では複雑ネットワーク科学の分野に進みました。ネットワーク構造を安定化させるアルゴリズムの研究を通して、通信技術との共通点に惹かれたことが、現在の仕事につながっています。

NTTネットワークサービスシステム研究所を志望したのは、研究開発に専念できる環境と、通信インフラを通じて

多くの人々に価値を届けられる点に魅力を感じたからです。

大学時代にNTT出身の教授から研究所の話や、インターンで実際の現場に触れたことで、「ここで挑戦したい」と強く思うようになりました。

現在は、自動運転レベル4の実現を目指した協調型インフラ基盤の研究に取り組んでいます。自分が開発した技術が実証実験で成果を上げる瞬間には、大きな緊張と同時に達成感があります。上司や先輩に成果を認められたときは大変嬉しく、今後の励みになりました。将来は、NTTの研究開発・ビジネスの

グローバル展開に寄与していきたいと思っています。

NTTネットワークサービスシステム研究所は、研究も開発も全力で挑戦できる場所です。新しい技術の研究に加えて、それを実用化して世に広く提供することにも挑戦できます。研究したい人、研究と実用化の両方をやりたい人にとって理想的な職場だと思います。



研究員  
岡田 昌樹

2021年入社

〈部署〉  
ネットワーク基盤技術研究  
プロジェクト  
サービス処理基盤研究グループ

# LIFE STYLE

## NS研で働く人たちの日常。

特別研究員

橋本 悠香

リモートワーク

挑戦を恐れず、仲間と前へ。  
自分らしく成長できる場所。

リモートワークは、会社にいる時と同じ環境で作業ができるのがいいところです。リモートワーク時はチャットツールを活用して、趣味の話やちょっとした研究の話共有しています。早めに仕事を終えた時は、ジムに行ったりお酒を嗜んだりすることもあります。フレックスタイム制なので、プライベートも充実させることができます。出社時は、休憩時間にコーヒーやお茶を飲みながら同僚とプライベートの話をして気分転換をする時もあります。

お気に入りアイテム



計算をする際やアイデアをまとめる際にはノートを利用します。今使っているノートは博士課程の際に指導教官からいただきました。

1日のスケジュール

- 6:00 起床
- 7:00 リモートワーク開始  
メールチェック
- 8:00 研究  
アイデア出し
- 9:30 社内の同じラインのメンバーと会議
- 10:30 研究  
論文執筆、資料制作など
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 共同研究者と研究議論
- 16:00 事務作業
- 17:00 リモートワーク終了
- 18:00 休憩  
またはジムで運動など
- 20:00 夕食、晩酌
- 22:00 就寝準備
- 23:30 就寝



研究員

岡田 昌樹

リモートワーク

心理学から通信インフラ研究へ。  
人と社会をつなぐ  
「協調」の本質を追いかけて。

グループ単位での小規模なものから、研究所さらには複数の研究所を束ねた総研単位での大規模まで、様々な交流会があります。参加することで他部署の方とつながることができ、業務に関わる情報や意見を交換することも可能です。もちろん任意参加です。基本的にリモートワークですが、出社やシェアオフィスでの勤務も可能。組織や個人によってリモート / 出社のバランスは多少変わります。リモートでは通勤時間がゼロになり時間は捻出しやすくなります。昼休みに家事ができるのもありがたいですね。一方で出社時は雑談や業務に関する話をしやすいなど、コミュニケーション面でのメリットがあります。そのため私の所属するグループでは月1回出社日を合わせてオフラインミーティングを開催するコミュニケーション活性化施策が導入されています。自分の研究に必要なことであれば、イベント参加・聴講や書籍購入などが可能。自由度の高い環境です。

お気に入りアイテム



会社の備品として購入したキーボード2つと、異動した先輩から引き継いだキーボード。たまにスペースキーにマスキングテープを貼って気分転換しています。今はアザラシ。

1日のスケジュール

- 9:30 起床
- 9:45 リモートワーク開始  
メールチェックや事務作業
- 10:00 社内外の関係者を含む  
実証実験状況・  
段取りの意識合わせ  
ミーティング
- 12:00 お昼休憩  
食事・洗濯
- 13:00 検証状況共有ミーティングに  
参加し、担当部分の状況を  
ログベースで確認・パートナー  
に作業依頼
- 15:00 資料作成
- 18:30 リモートワーク終了
- 19:00 食事
- 20:00 自由時間
- 21:00 家族との時間
- 22:30 家事
- 23:30 読書
- 1:00 就寝



研究員

平井 志久

リモートワーク

異分野出身でも、  
挑戦はできる。  
研究が社会を動かす  
瞬間を信じて。

オンライン英会話やパブリッククラウドAWS研修など、幅広い研修を受講できます。展示会やカンファレンスに参加する機会もあり、最近だとサンノゼまで出張に行きました。プライベートではサッカーを観戦したり、家族と公園などを散歩しています。

1日のスケジュール

- 9:00 サテライトシェアオフィスで  
リモートワーク開始
- 10:00 社内 MTG
- 11:00 事務処理
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 事業会社+社外との  
対面 MTG
- 15:00 帰宅してリモートワーク再開
- 16:00 集中タイム  
プログラミング
- 18:30 リモートワーク終了
- 19:00 夕飯
- 20:00 家族と夜散歩



研究員

巳波 春香

リモートワーク

母親としての新しい生活と  
研究職の両立に挑戦。

育休明けの先輩がそばにいるので、部署として産休・育休やその前後の働き方への理解があり、出産を控えている自分にとっては心強いです。リモートワークの日には、MTGがない時間帯であれば個人の裁量で休憩や不稼働を入れることも可能なので、進捗具合や自身の体調に合わせて勤務することができます。また、入社1~2年目のときには同期と寮生活をしており、交流が盛んでした。

お気に入りアイテム



お気に入りアイテムはノートで、入社してからずっと持ち歩いています。特に記載内容を決めているわけではなく、打合せ等で印象に残ったことや、やらなきゃいけないこと・やってみたくもないこと・思い浮かんだときに書いています。

1日のスケジュール

- 8:30 リモートワーク開始  
1日の業務と朝 MTG での相談内容整理、  
メールチェック
- 9:30 チーム内での朝 MTG
- 10:30 事務作業  
MTG 資料の作成、事務処理等
- 12:00 お昼休憩  
リモートワークのときは  
自炊することが多いです
- 13:00 研究関連  
測定結果の整理、論文執筆等
- 16:00 他部署と MTG  
書類作成
- 17:00 不稼働  
買い出しに行って夕飯を作って  
食べたりにしています
- 19:00 研究関連  
論文執筆等、必要であれば
- 20:30 リモートワーク終了



# SYSTEM

専門性を深める道も、新しい領域に挑む道も選べるのがNS研。  
あなたの研究が社会を変える日までのキャリアステップを紹介します。

## 研究者のキャリア例 Career Advancement

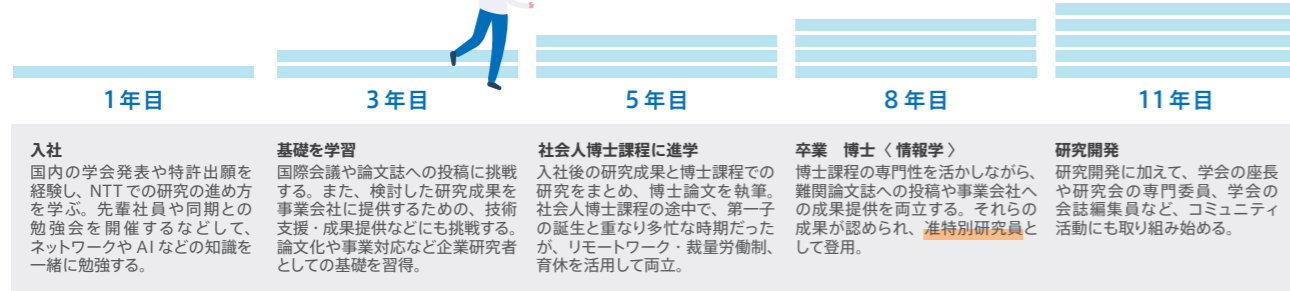


### 鈴木 晃人

通信トラヒック・品質・オペレーション研究プロジェクト  
トラヒックエンジニアリング研究グループ  
准特別研究員

2015年4月入社

次世代通信基盤「IOWN」の実現に向けて、数値最適化や強化学習(AI)などの技術を用いて、ネットワーク上のリソース(帯域やサーバーなど)を自動で最適に割り当てる仕組みを研究しています。需要の変化や障害にも素早く対応できる、「自律的に動くネットワーク」の実現を目指しています。研究成果は論文や特許として発表・出願しています。開発した技術を事業へ展開するための活動にも携わっています。また、後輩の研究指導や学会での運営・委員活動も行い、コミュニティ活動にも力を入れています。

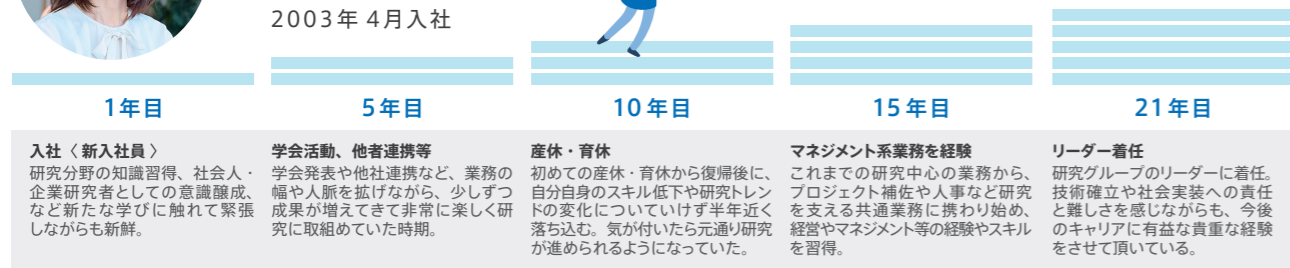


### 林 理恵

ネットワーク基盤技術研究プロジェクト  
光トランスポート研究グループ  
グループリーダー / 主幹研究員

2003年4月入社

大容量、低遅延、低消費電力なIOWN All-Photonics Network (APN)の発展に寄与する要素技術の研究や機能実証、方針策定、技術普及に向けた活動、それらのとりまとめを担当しています。今後は、私達が研究開発した技術をAPNに実装し、そのコンセプトを世界標準化して、日本はもちろん世界各国のデジタルインフラや経済成長の実現に貢献したいです。

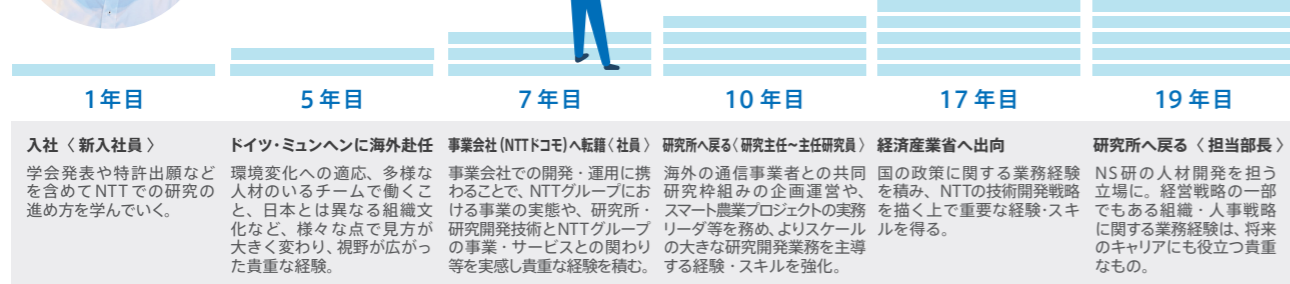


### 石橋 亮太

企画部  
人材開発担当  
担当部長

2007年4月入社

NS研の人材開発関連業務全般を担当しています。総務部門、研究企画部門、情報ネットワーク総合研究所、その他関連研究所の関連部署と連携しながら、採用、育成、評価、昇格・任用、労務厚生等、多岐に渡る人材開発関連の業務に従事しています。今後は、NTTグループの事業と日本の情報通信インフラを支える技術開発戦略を形作る役割を担えるよう、成長していきたいと思っています。



NTTでは、多様な人材が共存し、社員一人ひとりがそれぞれの能力を発揮し、活躍できる環境づくりのため、さまざまな形でサポートしています。

## 多様な人材の活躍を支える制度 System to Support Employees

効率的な働き方の推進	
裁量労働制	社員自身の裁量により、業務遂行の手段、時間配分などを決定する勤務時間制度
フレックスタイム制	月ごとに決められた労働時間の範囲内で、日々の勤務時間や始業時刻を自身で決定する勤務制度
リモートスタンダード制度	リモートワークを基本の勤務形態とする制度(ワークインライフ推進のため2022年7月に導入)
ライフイベントとの両立支援	
結婚に伴う挙式や引っ越し	・特別休暇(結婚)
妊娠前・妊娠中	・ライフプラン休暇(不妊治療)・健康診査の受診・通勤緩和・病欠休暇(つわり)
出産	・特別休暇(出産)・看護休暇(配偶者の出産)・ライフプラン休暇(配偶者の出産)
育児	・育児休職・育児のための短時間勤務・育児のための個人単位のシフト勤務 ・育児支援サービスに関する割引など ・ライフプラン休暇(育児・子の学校行事などへの参加) ・特別休暇(育児時間)・看護休暇
介護	・介護休職・介護のための短時間勤務 ・介護のための個人単位のシフト勤務 ・ライフプラン休暇(家族の介護)・介護のための短期の休暇 ・介護支援サービスに関する割引など

子育てサポート企業として「くるみん」を取得しています



「テレワーク先駆者100選」として認定されています



LGBT等の性的マイノリティへの取り組みが評価され、2年連続「ゴールド」を受賞



## 人材育成制度 Training & Career Path

まだ見ぬ未来を、ワクワクする未来をここから創造していくためには、社員一人ひとりが「自律的で市場価値の高い研究者」であることが重要と考えています。個々のキャリアプランに合わせ、基礎研究から技術経営までバラエティに富んだキャリア形成を支援しています。ますます変化が激しくなっている時代においても高い市場価値を持った研究者に成長できるよう、研修プログラムを随時見直し、最新化・最適化を図っています。

- スキルアップ研修
- 研究テーマ企画(OJT)
- 学位取得奨励
- 海外研究留学
- NTTフェロー
- 上席特別研究員
- 特別研究員
- NTT University

## 応募方法・選考フロー How to Apply

応募形態には自由応募と学校推薦の2種類があります。応募される際には、所属学科・研究科の就職担当教授に「NTT R&Dへの推薦」があるかどうかをご確認ください。推薦をお願いしている学科・研究科の方は、自由応募で応募することはできませんので、ご注意ください。なお、博士課程在学中の方の応募はすべて自由応募となります。

※制度は変更される可能性があります。

